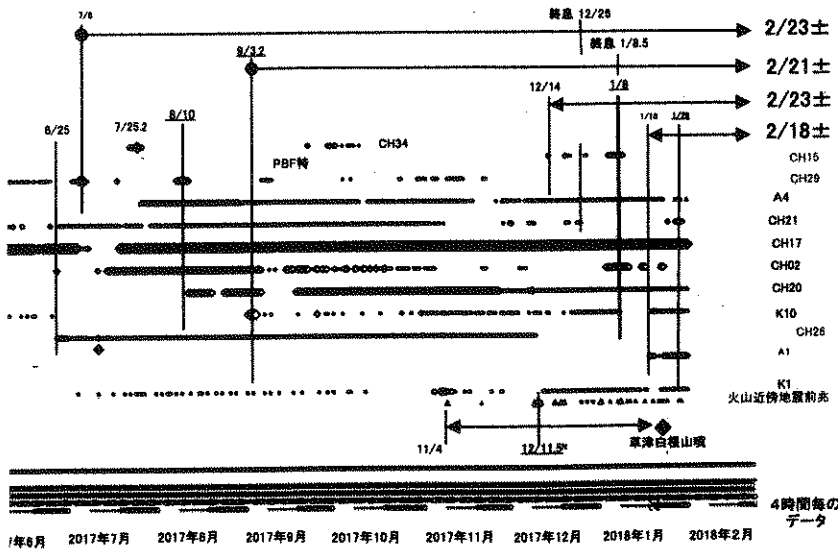


原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北州市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778長期継続特殊前兆続報 2月上旬の可能性は否定



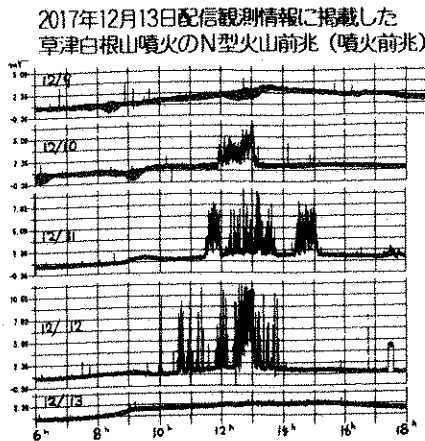
長期継続前兆No1778は、早い場合は02月上旬の可能性も否定できませんでしたが、新規前兆や前兆終息無し等から、少なくとも02月上旬の可能性は否定されます。(E-mail又はFAXで日々配信の観測情報では、既に通知済)

1/18よりA1, K10等に特異前兆が継続出現し、静穏だったCH21にもここ数日特異が出現。1/29極大認識では2/18±を示します。現状2/21±3を否定する根拠前兆は認識できません。今後の観測を鑑み続報させていただきます。

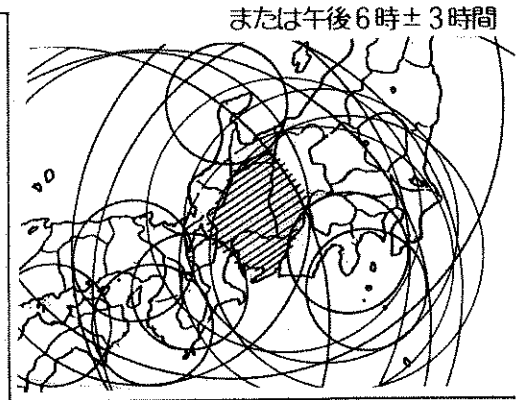
左の第24号-前兆出現状況図最下段に示していた火山性前兆は、ハヶ岳に近い火山の可能性を示していたことから、No1778関連の可能性も考えていましたが、下記のとおり草津白根山噴火対応前兆認識で、No1778推定領域が火山近傍に限定する必要がなくなりました。

- ◆推定領域：下図斜線領域内
- ◆推定規模：M7.8 ± 0.5
- ◆推定時期：前兆完全終息確認後計算予定
- ◇推定地震種：震源浅い日本列島の陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：午前9時 ± 1時間

参考：昨年12月11日極大火山前兆
→1/23草津白根山噴火対応



2017.12/13配信観測情報に掲載した活動の可能性がある推定火山の図



E-mail, FAXで日々配信の観測情報で、昨年12/11を中心にN型火山前兆が観測されたことを報告致しました。N型火山前兆は複数日出現の場合は、全て噴火活動に至っています。昨年12月13日配信の観測情報では左波形(N型火山前兆)を掲載し、N型がハヶ岳南麓だけに出現観測されたことから、ハヶ岳に近い領域の火山での活動の可能性を考え、左上図を掲載し、火山活動の可能性を推定致しました。通常の噴火前兆は一日当たり8時間程度の顕著なN型火山前兆が連日出現しますが、12/11中心の火山前兆は、一日当たり約4時間程で、過去例と比較しますと短時間でした。また顕著な噴火前兆では、秋田・高知の遠隔観測点にも火山前兆変動が同期して観測されますが、12/11中心の前兆はハヶ岳南麓のみ。このことから確実に噴火活動に至るか多少疑問で、火山性地震の可能性も推定致しました。しかし連日の火山前兆出現で草津白根山噴火対応と認識されます。草津白根の今回の噴火は水蒸気噴火の見解も発表されています。同じ水蒸気噴火だった御嶽山噴火の前兆は日々8時間N型前兆が出現しましたが、2014年9/9 9/11 9/14と間を空けた断続的複数日の出現でした。断続的な出現や今回の様に短時間のN型火山前兆の場合は、顕著なマグマ噴火ではなく、水蒸気噴火を示している可能性も示唆されます。今後の観測で検証していきます。活動火山を絞ることは困難ですが、今回群発経験則で観測されたK6BFを作図に入れますと、白根又は浅間に絞れます。また弱く火山前兆及びK6BFがありますが、12/13以降顕著な火山前兆は観測されておりません。

